

菊池短歌会

3月詠草

老いといふ盾にかくれて居る吾に友の訃報のまた届きたり 岩木 妙子
待ちわびし曾孫を見ずに逝きし叔母の忌日に嬰兒まじりて集ふ 岩永 典子
畑隅に声せしごとき露の臺かけよりにて摘む春のたよりに 氏岡 百枝
家並みの屋根の奥なる里山に黙して光る春の残雪きのふより今日の陽ざしが背に温し二月の庭 梅田 昭子
柑をもぐ 黒田 衣子
夕風の箔に嵌まりし春鴨よやがて名残りの数かとかぞふ 竹野美智代
麦の芽は麦の願ひを結ばむとつましき夢をはぐくみをらむ 怒留湯健蓉
をみなごら今日は故郷おもはむか姥もひとりの雛まつりなり 村上 咲江
見え難き今世の行方話題にて囲む焚き火は燃えしふるなり 山下 菊代
サングラスずらして見上ぐる紅梅に早春の陽はあまねくそそぐ 山代 静子



万句の里俳句会

3月句会

まだ姿見せぬ初音でありにけり 松永 久子
野火埃あたりかまはず降つて来し 中路 郁子
春の野に風の紫佛の座 高木 陽子
流れゆく藻のうたかたや水温む 鋤本 トミ
天折の娘を偲びつつ桃の供華 田中ひさ子
裏庭のある幸せや露のたう 東 鈴子
飛び梅の気高き香り天に満つ 稲田 鈴子
花菜摘む手にやはらかし丘の風 梅田 昭子
揚雲雀地球の丸く見ゆるまで 光本とよいち
終へてなほ心に野火の猛にけり 小山 照子
青空に色を返して犬ふぐり 田中 美智
囀のこぼしてゆきし佳信かな 吉井 綾子

肥後狂句桜会

例会入選句集より

思わず知らず 手拍子の鳴る名調子 小川 繁美
少子化で 孫は両家で奪い合い 狩野 本六
思わず知らず ブレーキだけは踏んどった 高倉 新米
少子化で とぎれとぎれの通学路 須藤 新生
メロドラマ 留守電にして座らした 太田 雄三
打ち忘れ 枯らしてしもたプランター 光堀 善教
少子化で 無縁仏の増ゆるどう 田中 孝幸

せせらぎ俳句会

3月例会

一句得し寒夜を灯す枕元 村山 数恵
露のとう幼に教え籠に摘む 寺本 和子
古雛の笛もつづみも無きままに 藤本アツ子
しあわせの隣に坐して彼岸寺 藤本 邦浩
父母の影千の風なり春立ちて 五丁 義昭
街路樹の辛夷見上げてウォーキング 内村 泊虹
火祭神事阿蘇に住みたる遠き日よ 坂本まつえ
黄砂しきり車洗ひを繰り返し 服部 静子
ストーブを点す日だんだん減つて来た (中二) 渡辺大寿
黄砂かな遠くの景色かすんでる (中二) 渡辺一史

肥後狂句水笑会

3月例会

強過ぎる いくらおても化粧でも 清原 英坊
見たごたる 夢だつたらかこの景色 井手 水光
なしだろか マイクば持つと皆帰る 柏原 乗仏
なしだろか 僕にだけ来んチョコレート 神尾 凡骨
やかましき 一辺言うとわかっとなる 中島 五女
すぐ花見 ごぎの手配も抜かりなか 続 義昭
強過ぎる 口説くつもりが酔いつぶれ 宮上 美由

七城短歌会

3月詠草

草を取る庭に折りしも風ありて小雪の如く梅の花舞う 池田カツ子
咲き揃う野道の菜の花手にさやる散歩の明日を約して過ぐる 齊藤 芳子
早春の庭に黄透ける花咲きて臘梅仄かな香りとどむる 岩津 凉子
白梅に数羽の子ともうぐいすが巢立ちの喜び知るがに飛び交う 吉間 充子
声なくしベットに横たう弟の容態モニターテレビが示す 森 道子
冬の日の彩なき庭を点しつつひとむら明るく黄水仙咲く 下川 つぎ
更けし夜の臥所に聞こゆ孫子らの誰が手にとどくチョコ作る声 緒方 寛子
写し絵は友と二人の盃船笑顔の亡夫の今日誕生日庭にある金魚の池にひよどりの水浴びるさま炬燵より見る 堀 甲子

泗水短歌会

3月詠草

メロドラマ また青春が甦る 北村 竹刀
思わず知らず 交番前は足早に 田尻 浩風
打ち忘れ 三日遅れのプレゼント 窪田 明德
合併して 山の御堂も市になった 東 栄次
思わず知らず テレビに拍手しよる媽 小佐井健坊
御仏飯装い上手の嫁在りて遺影の夫は今朝も笑みおり 吉安 永子
紅白梅花より花へと日もすがら目白の数羽花びら散らす 福原美智子
どこまでも緑はつづく麦畑人影もなく春まだ浅し 内田つね代
故郷の家並 古民家 木の根っこ 友の個展をゆつくり巡る 高藤タツノ
着ぶくれのダウンチョッキを脱ぎ捨てて庭草を抜く今年の草を 中山 定子
ただ一本乙女椿は庭隅に鶯伴い春の陽を浴ぶ 長尾はるみ
在りし日に夫の好みし甘酒の店頭にあり迷わずに買う 平嶋きくえ
菜の花を眺めて帰る野の畦を大きな猫ののそりとよぎる 宮本 峯子
百六歳にて軍歌をうたひ毅然とし意気盛んなり金森翁は 増田久美子

旭志文芸俳句会

3月詠草

ひんがしに昼月淡し山眠る 芹川 蓉子
娘の記事を切りぬきするや寒明くる 水谷 ミネ
戻り寒友逝きて早一周忌 東 芳子
露の臺野ぎわぬくもり早く立つ 郷 ミヤ子
末黒野のなだり広がる阿蘇五岳 中尾ヨシコ
牛飼いの縁談まとまり日脚のぶ 芹川のり子

